

もっと！！ 番犬ガオガオの修理法 -2（セッティングできない）

2024.12.28

トミー・マック

1. 外 観

おもちゃ名は「もっと！！ 番犬ガオガオ」です。メーカーは（株）メガハウスで、2012年の発売です。



2. 特 徴

- 引いたカードの指示に従って、居眠りしているガオガオを起こさないように、そーっとエサ皿の中のエサを順番にとっていきます。
 - 運悪くガオガオが飛び出して襲われてしまった人の負けです。
 - 焼き魚パーツが増量、おじゃまカード・ネコの手ピンセットが追加になり、このカードを引いたらネコの手ピンセットに持ち替えて、焼き魚パーツをとらなければならないなど、難易度 up です。
 - 大人数でも盛り上がること間違いなしのゲームです。
- 「番犬モード」と「猛犬モード」2つのモードで楽しめます。

3. 故 障

ガオガオが飛びつく動きをさせるため、強いバネが使われており、バネの固定部が割れて壊れやすいです。飛びつく動作の機械的な故障や、唸り声と音楽やエサの取り出しで作動するスイッチ、制御のICやモータなどの電気的な故障もあります。

今回は、ゲーム開始の構える体勢に、**セッティングできない故障**です。

4. 原 因

分解と修理過程で分かったことは、

- 本体の脚駆動板軸にある、右支点樹脂の**バネ留めが壊れ**ています。 → バネで破損。

対応は、

- バネを右支点樹脂に、 $\phi 0.55\text{mm}$ のステンレス線（以降はSUS線と言う）5本を挿して固定します。

5. 修 理

（1）ガオガオの取り外し

ガオガオの右脚を少し広げて本体の右脚駆動板から外します。

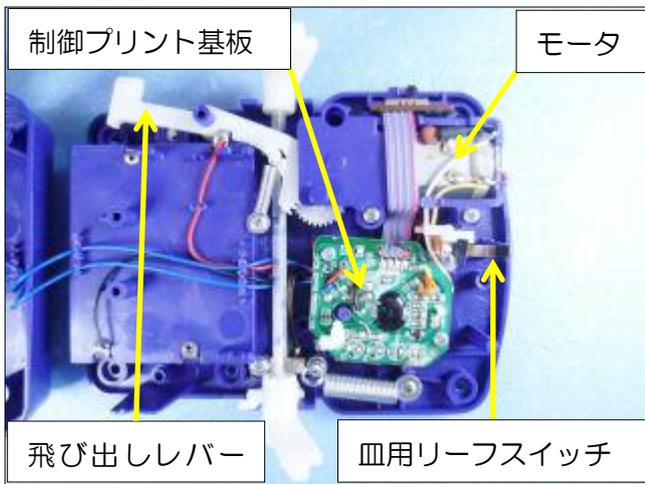
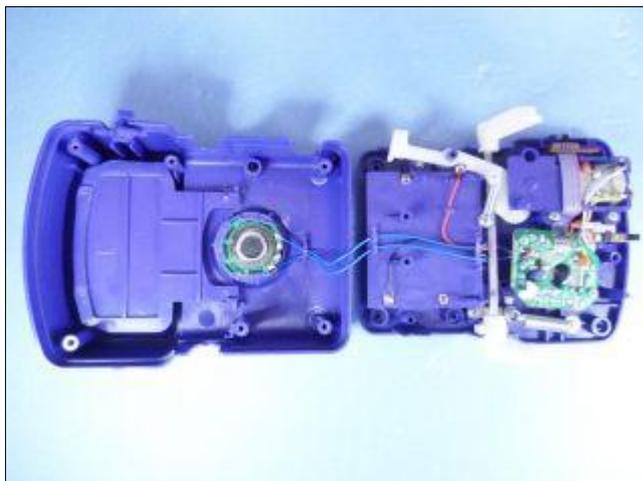
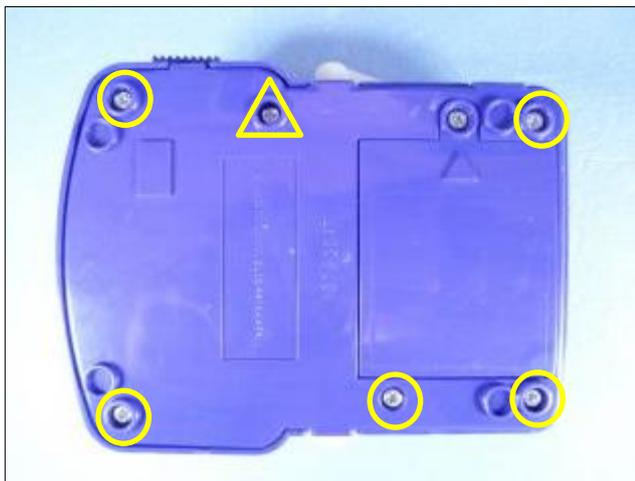
外れにくい場合は、片側脚の○印のネジ（タッピング 3X10）を緩め、右脚を広げて外します。



もっと！！ 番犬ガオガオの修理法 -2 (セッティングできない)

(2) 本体の底板の外し

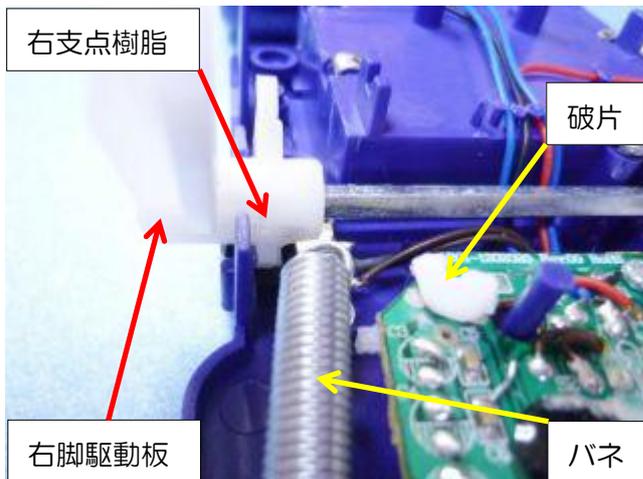
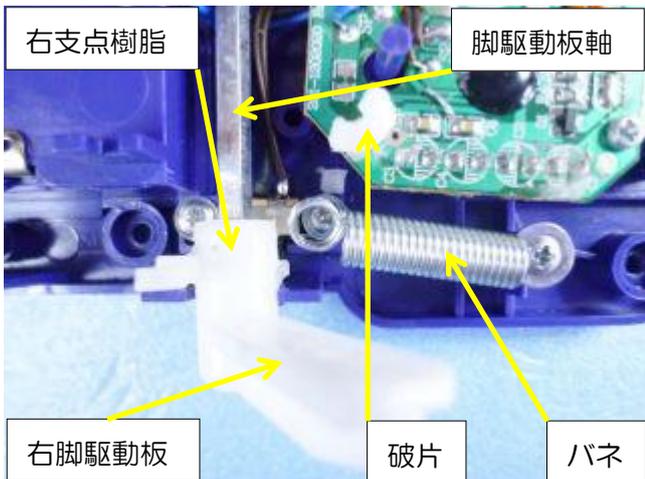
○印のネジ (タッピング3.0X10) 5本と、△印のネジ (タッピング3.0X12) 1本を外すと、



制御プリント基板や飛び出しレバーを動かすモータが見えます。飛び出しの動作は、皿の投入による衝撃を皿用リーフスイッチの検知で行います。

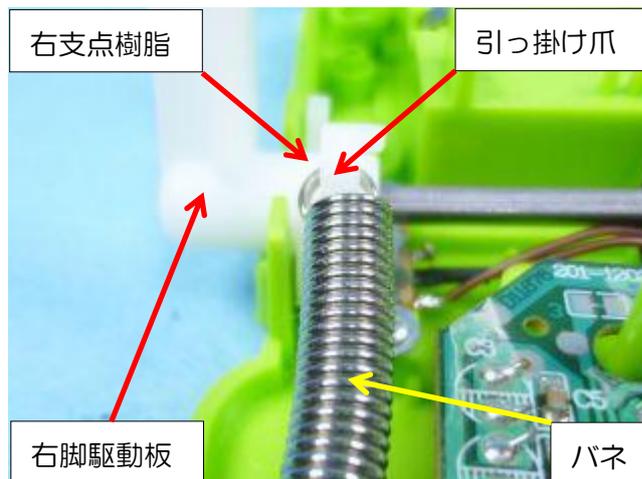
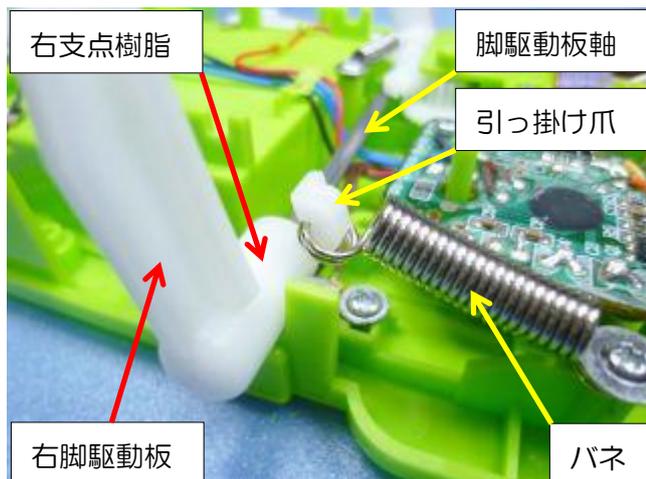
(3) 機構の確認

右支点樹脂の付近を見ると、樹脂の破片がありバネが外れています。どうやら右支点樹脂のバネ引っ掛け爪が折れて千切れた破片のようです。



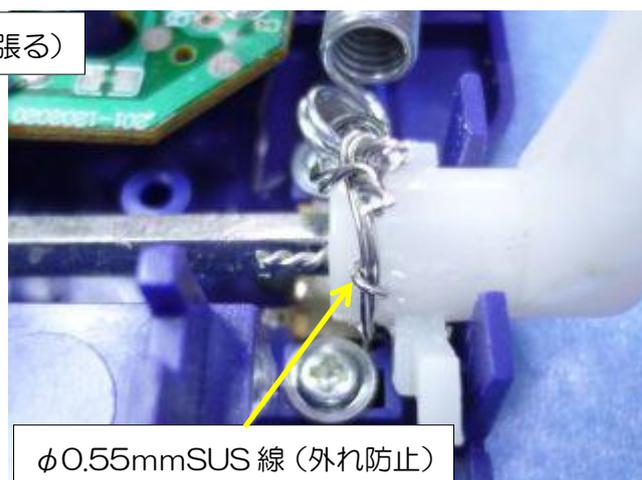
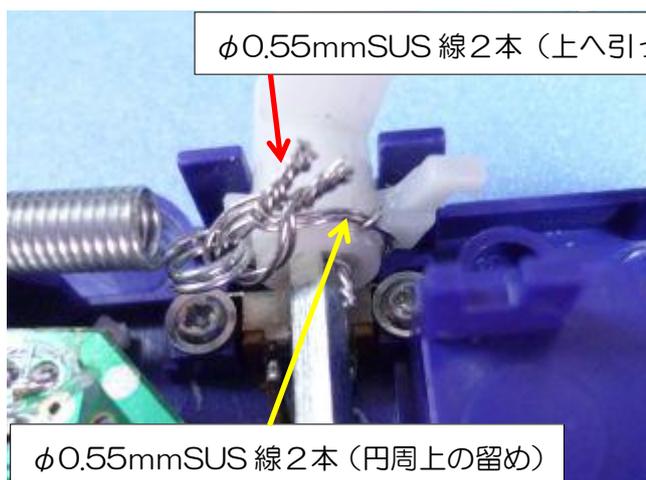
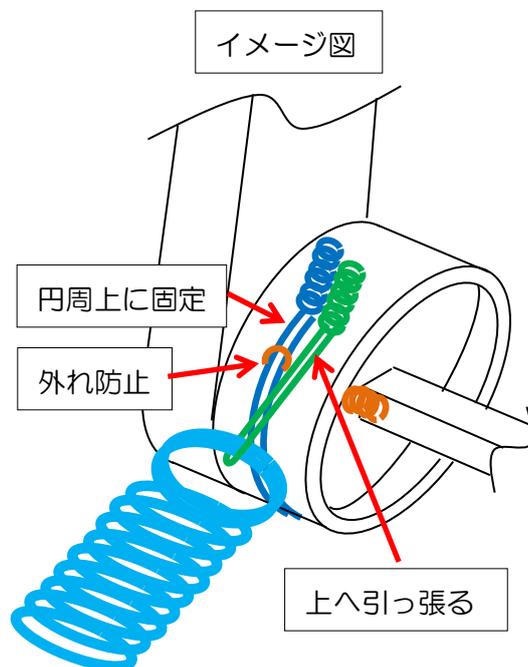
もっと！！ 番犬ガオガオの修理法 -2 (セッティングできない)

正常品は、右支点樹脂の付近にバネの引っ掛け爪があり、今回はそれが折れて樹脂の破片になっていました。



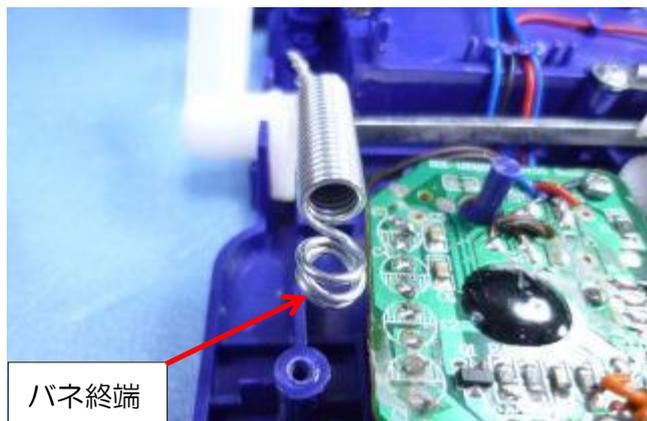
(4) 修理

右支点樹脂の円周に直径方向にφ0.8mmの孔を2か所明け、それぞれにφ0.55mmのSUS線を挿入して、バネの末端を通して縛ります。そして位置決めのため、更に2本のSUS線で上に引っ張って留めます。これだけでは強いバネの張力で引っ張られて円周から外れるので、更にSUS線1本で円周上のSUS線2本を留めます。



もっと！！ 番犬ガオガオの修理法 -2（セッティングできない）

この箇所の留め方は、もっと上手にする方法があるかもしれませんが、試行錯誤しながらの作業なのでSUS線を多く使いました。



右脚駆動板を引っ張る力が弱かったので、バネの1巻き解き、終端にして強くしました。

これで、原因追及と **修理完了**。

(5) 元に戻す

ここまでの過程を戻れば組めますので、詳細の説明を省略し、組み戻しで要注意点のみ記載します。

..(a) 底板のネジ留め

電源スイッチつまみを所定の位置に嵌め、底板をネジ（タッピング3.0X10）5本と、△印のネジ（タッピング3.0X12）1本で留めます。

..(b) ガオガオの設置

ガオガオの両脚を少し広げ、脚駆動板に嵌め込みます。もし脚の留めネジ（タッピング3X10）を緩めていた時にはしっかりと締めます。

完了

終わり